

第23回 輝け九条！詩人のつどい

アンソロジー詩集発刊記念

今このとき 九条を

日時 9月17日 (日) 開演13:30～ (13:10 受付開始)

会場 江戸川区立タワーホール船堀 福寿の間

第一部

東京新聞社会部記者

(映画「新聞記者」原案者) もちづき いそこ

講演

望月衣塑子

さん

「軍産学複合体国家に
突き進む岸田政権
～メディアと市民は
どう抗うか～」



つどいの趣旨に賛同される方なら
どなたでも参加できます。

第二部

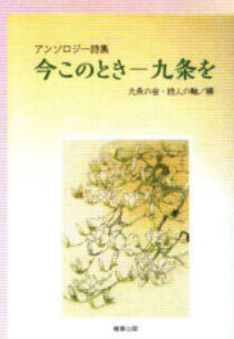
詩の朗読

二胡演奏

二胡グループ 小花

憲法前文

朗読 高細玄一



アンソロジー詩集「今このとき-九条を」から詩の朗読

詩の朗読者 募集中 申し込みは8月18日(金)迄に

詳しくは裏面をご覧ください。

主催 「九条の会」 アピールに賛同する詩人の輪

望月衣塑子さんプロフィール

タワーホール船堀 案内

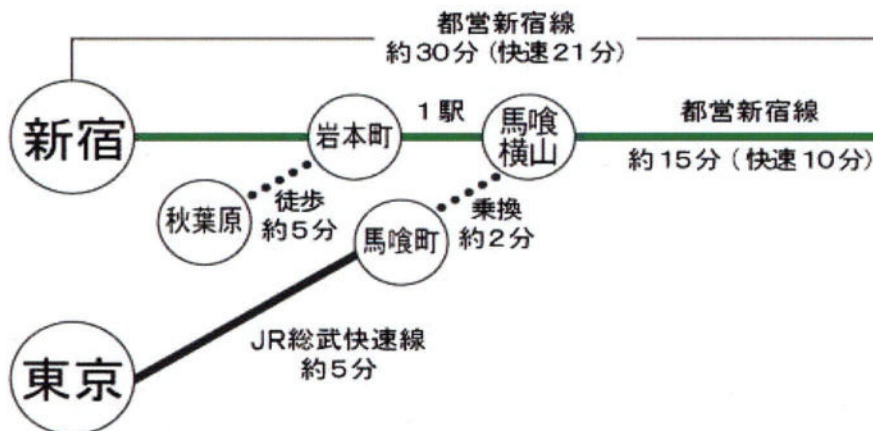


高さ115mの船堀タワー。無料の展望台からスカイツリーなどを眺望できます。



1975年、東京都生まれ。2000年に東京・中日新聞に入社。千葉、神奈川、埼玉の各県警、東京地検特捜部などで事件を中心に取材する。2004年、日本歯科医師連盟のヤミ献金疑惑の一連の事実をスクープし、自民党と医療業界の利権構造を暴く。東京地裁・高裁での裁判を担当し、その後経済部記者、社会部遊軍記者として、防衛省の武器輸出、軍学共同、をテーマに取材。17年4月以降は、森友学園・加計学園問題の取材チームの一員となり、取材しながら官房長官会見で質問続けた。現在、社会部遊軍記者として、入管問題、ジェンダー格差、ロシアのウクライナ侵攻など取材。

著書に『武器輸出と日本企業』（角川新書）、『武器輸出大国ニッポンでいいのか』（共著、あけび書房）、『THE 独裁者』（KKベストセラーズ）、『追及力』（光文社）、『権力と新聞の大問題』（集英社）。『なぜ、日本のジャーナリズムは崩壊したのか』（講談社+α新書）、『嫌われるジャーナリスト』（SB新書）、角川新書『報道現場』（角川新書）、『ジャーナリズムの役割は空気を壊すこと』（集英社新書）、2017年に、平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞を受賞。2019年度、「税を追う」取材チームでJCJ大賞受賞



都営新宿線
船堀駅
（駅前すぐ）…徒歩約1分
タワーホール船堀

所要時間として表示している時間は、状況によって異なります。目安としてご覧ください。

九条の会詩人の輪

〒170-0004

東京都豊島区北大塚 2-18-3-202 詩人会議事務所内

Email: sijinnowa@gmail.com HP: <http://sijinnowa.web.fc2.com/>

郵便振替口座 00150-0-278703

「九条の会」アピールに賛同する詩人の輪
しま ふうみひと
電話 090-6933-8508 (洲 史)

詩の朗読者 募集中

今回、詩の朗読は、アンソロジー詩集「今このとき—九条を」からとし、ご自分の詩を朗読して下さる方を募集しています。

申し込み締切は8月18日（金）です。詩人の輪へメールか電話でお申し込みください。